

- 管内 後志管内
- 分類 生活安全 交通安全 災害安全
- 教育課程 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動 その他
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 専門的な助言による避難計画等の改善・充実
- 緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練の実施

## 取組の実際

### ねらい

- 緊急地震速報受信システムの活用を通して、災害発生時における避難訓練の改善を図り、危機管理体制の充実を図る。

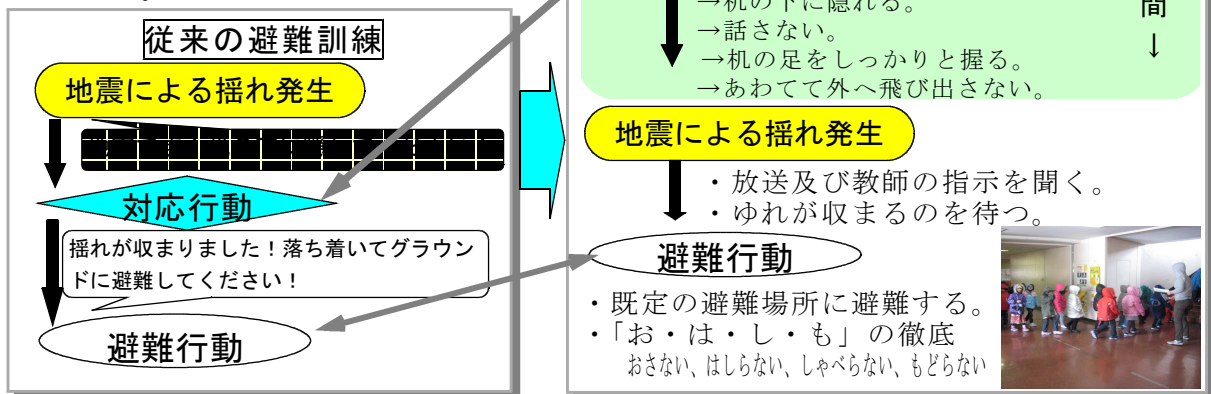
### 内容

#### 1 緊急地震速報受信システムを活用した実践的な避難訓練

本町では、文部科学省「実践的防災教育総合支援事業」の指定を受けるとともに、防災教育の方向性や教職員の危機管理研修を定めた「町立学校防災教育指針」を策定した。この指針に基づき、緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施した。

#### 2 気象台職員による助言

避難訓練前に、気象台職員の助言を受け、緊急地震速報受信システムの警報が各教室に直接流れるように改善した。このことにより、地震に対する対応行動や避難行動がより早く行えるようにした。



#### 3 学年ごとの避難場所の設置

校舎3階に学年ごとの避難場所をあらかじめ設定し、表示した。このことにより、休み時間に災害が起きても、児童の安全確保を図った避難を可能にした。

#### 4 各種指導資料の活用

気象庁が作成した指導資料や「学んDE防災」（道教委作成）を、避難訓練の事前・事後指導で活用することにより、児童に訓練の見通しをもたせたり、防災意識を高めたりした。

### 成果と課題

- 緊急地震速報受信システムを専門家の助言を取り入れながら活用することで、避難の時間を短縮することができるようになるなど、避難計画等を見直すことができた。
- 火事や地震、台風など災害種別に分かれているマニュアルを統一し、様々な災害に応じた避難の仕方や方法、対処に係る指導を充実させる必要がある。